

つるのおんがえし



40号 平成23年10月発行

発行:感動・創庫
〒259-1211
平塚市ふじみ野2-14-6-101
TEL/FAX:0463-67-1896
mail:info@kando-soko.com
http://kando-soko.com
発行編集責任者:芦川永光



情報化社会と呼ばれた時代から、知識化社会へと変貌しつつある現代。目には見えない情報網が、今や全世界に張り巡らされ、ポケットに入るほどの端末が、私たちの第2の脳として機能するまでになりました。

それにしても、ほんの数年前で出来なかつたことが、今では常識ってこと、結構ありますよ。

私たちがのような小さな組織体には、大した経営資源がありませんから、そんな新しい便利さを利用しない手はありません。乗れそうな波があれば、まずは乗れるかどうかトライしてみる。それが新たに

ノマドという新しいスタイル



トライした「ノマド」という新しいオフィスの形です。

広告デザインって一見、華やかにも見える仕事ですが、実はスゴく地味。締切にも追われ、時には叫びたくなるほど、ストレスを感じる事もあるんです。パソコンとノート

を前に、集中して仕事をする

ことが逆にマイナスになることもしばしば。アイデアに行き詰まり、考えても考えても、時間だけが過ぎるといふ悪循環がそうでした。これを防ぐために編み出した策がノマド

「自分がブランディング出来なければ、お客様のブランディングなんか出来っこない」

これは私が尊敬する、あるデザイン事務所の方がおっしゃっていた言葉です。この言葉を聞いて、私は思ったのです。お客様にとつての感動・創庫は、いつも何か面白いことやってるけどスゴイ奴ら、そう思ってもらいたい、と。

楽しい奴らが作る広告だから、とにかく楽しい。しかも、しっかりと効果が出ることを目指した、私たちなりのアイデア抽出法「ノマド」。カフェで、図書館で、公園で、あなたの広告に心をこめています。

『ノマド』とは？

北アフリカの砂漠や中央アジアの草原で、羊や牛を追って生活している遊牧民のこと。最近では、「オフィスのない会社」をワークスタイルとする人のことを言います。

日々激動の時代!
だからこそ声川永光34歳、宣言します。

オヤジ化

対策委員会



ユーザー車検にトライ

8月の終わり、ユーザー車検にトライしてきました。車検制度について何も知らぬまま、人任せはイヤだったのと、費用が安くなるかなあという期待もありつつ、でした。ムリは承知のネット検索でしたが、全く無知の私をしっかりと導いてくれるサイトがいくつもありました。掛かる費用や用意する書類などを調べて、よし行ける!と気合いを入れ、勢いそのままに予約の手続き。これもネット経由で出来るんですね。

さて当日、必要書類を携えて車検場へゴーです。書類関係は問題なく手続きを終え、さて、車検の行われるレーンへ向かいます。



戦で勝ち気になれたことと、何より運。『持っていた』みたいです、私。

車検の仕組みを理解出来たことで、オヤジ化を防ぐヒントがいくつか見つかりました。

「出来る人」に多い、 一つの思考停止パターン

車検自体は難しくないと分かりましたが、次はもう自分でやるうとは思いません。時間対費用で考えてみると、結局、浮いた費用以上の時間と手間が掛かってしまったからです。かかった時間でその分、仕事で稼げば良かった、とも思っただんですね。でもこれ、自分にとってはスゴイ気づきだったって思うんです。

人にはよくあることなんです。私にはよくあることなんです。皆さんは普段の仕事の中で「人に頼むより、自分でやった方が早い」と感じたことはありませんか。人に任せられず、全て自分でやらなきゃ気がすまない人って、時間対費用の考え方が出来ていない。「自分でやる方が」という正当化が進んで結局、思考停止に陥ってると思うんです。

人の手をうまく利用して、大成した人物と言えば、私は坂本龍馬を思い出します。彼が残した名言に「**二ことは十中八九まで自らこれを行い、残り一、二を他に譲りて功をなさむべし**」とあります。本当に仕事が出来るとは、自分の功績よりも、目的の達成を最優先に考えられる人。物事の優先順位を理解して、自分のやるべきことだけをやるのが望ましいのは、歴史で語られる龍馬の功績を見れば、一目瞭然ですよ。今回の気づきは、改めて時間の使い方を考えさせられる、良いきっかけになりました。

「以前から何も変わらず、 でも、疑問に思わない」 ありがちな思考停止状態

そして、今回感じたことがもう一つ。車検は結局、長く安全に乗るための制度ではないので、車の維持を最優先に考えれば、プロに点検整備を頼むべきだと当たり前ですが(痛感)したことです。受ければ分かるんです、車検ってホント無駄だったことが。結局、天

度なんですね。基準が厳しいのではなく、無知な人間からしっかりと搾取出来る、巧妙な仕組みということですよ。

この制度について「おかしい!」と大勢が声をあげれば、車検は2年毎ではなく、期間がもっと延びると私は思います。だって、車の性能って、昔に比べてスゴく上がってますよね。なのに、こっだけが変わらないってオカシイと思いませんか?それよりもっと整備のプロにお金がまわるようにして安全性を追求しよう、と社会が気づいて欲しいと私は願っています。でなければ、こそ思考が停止した状態ですもんね!とまあ最後は鼻息が荒くなりましたが、色々な気づきがあったユーザー車検でございました。



いってきま〜す!



今月の 気になっちゃう 広告!

「面白い広告ないかなあ〜」と探していて見つけました! adidas(アディダス)の広告です。スポーツメーカーのイメージ広告ですが、よ〜く見てください。雑誌なので、開けたり閉じたりしますよね。それで、この女性が運動しているように見えるんです。腹筋したり、ダンベル運動したり…イメージできましたか?

広告に載せる媒体の特長を利用したアイデアですね。何度もバラバラしちゃいたくなる。スゴイですね。



ご縁 mugendai 無限大

今月のお客様は

フォトグラファー
瀧 直也 さん



初回から大反響のあったこのコーナー。今回紹介させていただくご縁は、私たちの広告制作に不可欠な「写真」というパートを支えてくれている同志、超敏腕フォトグラファーの瀧直也さんです。瀧さんとのご縁は、小田原のサティラヘアーさんから「撮影会をしたい」とのお話を頂いたのがきっかけ。知り合いのネイリストさんに「イケメンでカッコイイ上に、スゴク良い写真をこだわって撮ってくれるの〜♪」との話を聞き、まあ、イケメンはともかく…腕が良い人ならすぐ紹介して!とお願いをし、そのまま打ち合わせ、そして撮影会、となったのでした。

今こそ撮影を何度もお願いしていますが、初めての彼の仕事ぶりを見た時、「これぞプロのカメラマン」たる手さばきや、時間の使い方、モデルさんへの声掛けなどには、度肝を抜かれたのを今でも覚えています。広告の中ではわずかに数枚の厳選された写真を使うわけですが、彼はそれを用意するために、何百回ものシャツターを、一度も手を抜かず切る訳です。スゴイ集中力です。私なら持つてせいぜい10分です。さらにそう、イケメンなのです。出来あがった写真はいつでも感動です。モデルさんはキレイを超えて綺麗!食べ物説明不要に唾液が出てきます。今まで内容重視の

広告しか信じていなかった私が、「一枚の写真だけでも行動を起こさせることは出来る」と、瀧さんの作品を見て、その偉大なチカラを信じるようになったのです。上手いだけのカメラマンなら探せばいくらでもいますが、気持ちの入った説得力ある写真を取らせたら、関東圏では文句ナシ一番!彼を紹介する際には、私はこう言います「僕と同じくらいイケメンで、しかも最高の写真を撮る…」って事で、また次回!!



心に響く
感動の格言

夢をみる人、また
者ほど太陽を
暖かく感じてる
人生の光を
くぐった者ほど
生命の
苗芽を知る

words by ホイトマン

アメリカの詩人であり、ジャーナリストでもあるウォルター・ホイトマンの言葉です。彼の言葉を一つ応用するとすれば、「風邪を引くと、健康のありがたみ分かる」でしょうか(小さすぎ?)。人生って底まで落ち込んで初めて、見えることが沢山あるのでしょうか。私もちよつとは見たつもりですが、まだまだ見えてないのかもなあ…。

編集後記

されるのですが会場別に色が違うTシャツが販売されるのです。どの色になるのかなぁなんて、当日まで楽しみにしていました。

こんにちは、涼子です。先日ドリカム(DREAMSCOME TRUE)のライブに行ってきました。一緒に行ったのは、妹。オリジナルアルバムは、16枚/結構マニアックな曲も演奏されます。私です。4年に一度、史上最強の遊園地ワンダーランドというライブを開催します。このライブは、ファン投票などで昔からの曲も歌う特別なライブです。懐かしい曲がメドレーのように歌われま

すので、CDアルバムで言えば、ベストアルバムのように、盛りだくさん感じなんです。4年に1度ということもあって、とても人気でなかなかチケットが手に入りづらいんですよ。そして、今回の私のちょっとしたお楽しみだったのが、会場限定のTシャツでした。全国6カ所で開催

だろぅなあ。4年前も行ったワンダーランド/また違う感動がありました。とっても楽しかったですよ。歳を重ねると、同じ曲がまた違う聞こえ方をしたりするんですよ。その度ワンダーランドは36歳になってる私。また変わっているんだろうなあ。



妹と一緒に!大満足でした。